

# 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部

## (第13回) 議事録

日時：令和元年6月7日（金） 7：50－8：00

場所：官邸4階大会議室

出席者：安倍内閣総理大臣、麻生副総理・財務大臣・内閣府特命担当大臣、菅内閣官房長官、石田総務大臣・内閣府特命担当大臣、山下法務大臣、河野外務大臣、柴山文部科学大臣、大口厚生労働副大臣（根本厚生労働大臣代理出席）、吉川農林水産大臣、世耕経済産業大臣・内閣府特命担当大臣、石井国土交通大臣、原田環境大臣・内閣府特命担当大臣、岩屋防衛大臣、渡辺復興大臣、山本国家公安委員会委員長・内閣府特命担当大臣、宮腰内閣府特命担当大臣、平井内閣府特命担当大臣、茂木内閣府特命担当大臣、片山内閣府特命担当大臣、鈴木東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣、西村内閣官房副長官、野上内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官

### 【鈴木大臣】

ただ今から、「東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部」の第13回会合を開催します。本日は御参集いただきありがとうございます。

私の方で進行を務めさせていただきますので、よろしく申し上げます。

《2020年東京大オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営の推進に関する政府の取組の状況に関する報告案について》

議事に入ります。議題1について、資料1－1を御覧ください。

オリパラ特措法に基づく国会への政府の取組状況の報告は、今回で3回目の報告となります。平成30年度の取組を中心に整理しております。

まず、大会に向けた法整備では、2020年に限り大会の開会式当日等を祝日とする「オリパラ特措法の改正」などが実現いたしました。

「復興オリンピック・パラリンピック」については、「復興ありがとうホストタウン」を推進し、また、オリンピックの聖火リレーのスタート会場が「Jヴィレッジ」に決定しました。私も被災地出身の大臣として、被災地と東京大会の距離を縮めていけるよう、取り組んでいるところです。

セキュリティ、輸送や暑さ対策も着実に進めてまいりました。

日本文化の魅力の発信については「日本博」の開催が決定し、また、健康面等でのレガシー創出につなげる「beyond2020マイベストプログラム」を創設しました。

大会を日本全国の祭典とするためのホストタウンは、310件まで増加しました。

さらに、共生社会の実現に向け、ホテルのバリアフリー化や、障害当事者の意見に基づき施策を改善する「評価会議」の創設などにも取り組みました。

これまでの取組に係る関係の皆様のご御尽力に感謝申し上げます。

決定事項の確認を行いたいと思います。

議題1について、ご異議ございませんでしょうか。

それでは、本案を決定させていただきます。

《「2020年東京大会に向けた最近の取組について》

ここからは報告事項です。議題2に関して、資料3を御覧ください。

東京大会に向けた最近の取組についてです。

円滑な輸送について、大会1年前となるこの夏に、国も率先して本番並みの交通対策の試行を行います。

暑さ対策については、この夏のテストイベントで試行し、本番に向けた更なる強化を図ります。

感染症対策については、連絡会議を設置し、この夏を目途に推進計画を策定する予定です。

ホストタウンは現時点で323件まで増加しており、来週、全国の首長が一堂に会する「ホストタウン首長会議」を開催します。

共生社会ホストタウンは14件に増加し、また、先導的な取組を認定し、重点的に支援する仕組みを創設しました。

その他、「beyond2020マイベストプログラム」や食文化の発信についても取り組んでいるところです。

来年の7月24日に迫った東京大会。その成功に向け更に準備を加速させます。

#### 《ラグビーワールドカップ2019の準備状況について》

次に、資料3を御覧ください。ラグビーワールドカップ2019の準備状況について、柴山文部科学大臣より、御説明をお願いします。

#### 【柴山大臣】

資料3を御覧ください。「ラグビーワールドカップ2019の準備状況」について、チケットについては、4月時点で180万枚のうち130万枚のチケットが販売済みとなり、5月からの第3次一般販売でも勢いは継続しております。ボランティアも過去最高の応募が集まり、予定を上回る人数を採用するなど大会に向けた機運は高まっています。

また、公認チームキャンプ地も決定し、各国の選手や関係者を迎え入れる準備も着々と進んでおります。

いよいよ開幕まで100日余りとなりました。アジア初の大会を国として支援し、成功に導くため、閣僚の皆様におかれては、2020年東京大会との一体的な準備に配慮しつつ最大限の御協力をお願いいたします。

#### 【鈴木大臣】

ありがとうございました。

それでは、これまでの説明に対し、御発言をお願いいたします。この後に閣議もあり、時間も限られていますので、発言は事前登録のあった方から、簡潔をお願いいたします。まず、①柴山文部科学大臣、よろしくお願いします。

#### ①柴山文部科学大臣

新国立競技場の今年11月の完成に向けた着実な整備や、メダル獲得に向けた競技力向上などの取組を引き続き強力に進めてまいります。また、文化プログラムの中核的事業である「日本博」についても全力で取り組んでまいります。

#### ②大口厚生労働副大臣

様々な国から多くの訪日客が見込まれるため、感染症対策や受動喫煙対策について関係省庁と連携し、万全を期してまいります。

#### ③石井国土交通大臣

国土交通省としましては、首都高等の円滑な輸送に係る交通対策、共生社会ホストタウン等のバリアフリー化、多言語対応等の外国人観光客の受入環境整備等に、関係機関と連携して着実に取り組んでまいります。

④原田環境大臣

「みんなのメダルプロジェクト」は、3月末で計画どおり終了いたしました。全国から小型家電類を集めてリサイクルすることによって、金・銀・銅メダルを作成できる見込みとなりました。この成果をレガシーとして活用した「アフターメダルプロジェクト」により、3R及び循環型社会の構築を今後さらに推進します。

⑤渡辺復興大臣

被災地等と連携しながら、ラグビーワールドカップや東京大会の機会を活用して復興の情報発信を積極的に進めてまいります。

⑥山本国家公安委員会委員長

我が国に対するテロの脅威が継続している中、情報収集・分析の強化、警戒警備の徹底等の諸対策を推進するとともに、大会関係者の安全かつ円滑な輸送の確保等に向けた諸対策を推進してまいります。

【鈴木大臣】

ありがとうございました。時間の関係上、発言はここまでとさせていただきます。それでは、プレスが入室いたします。

[プレス入室]

【鈴木大臣】

安倍内閣総理大臣から御挨拶を頂きたいと存じます。よろしく願いいたします。

【安倍内閣総理大臣】

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催が、1年後に迫ってまいりました。間もなく各競技のテストイベントが始まり、大会本番に向けた準備も実行段階へと入ります。世界一の大会の実現を目指し、引き続き東京都、組織委員会、関係自治体と一体となって準備を進めてまいります。

中でも、復興五輪は、東京大会の重要な柱です。閣僚全員が、復興大臣であるとの認識を共有し、政府一体となって取組を進めてまいります。

来年3月、福島から聖火リレーがスタートします。私も訪問して被災地の皆さんと共に、東日本大震災から復興が進んでいる姿を世界に力強く発信したいと思います。

また、共生社会の実現やホストタウンなど、東京大会による成果を一過性のものとせず、次世代に誇れるレガシーを創出し、国内外へ積極的に発信してまいります。

本年秋、我が国初となるラグビーワールドカップが開催されます。この大会を是非成功

に導き、来年に迫った東京大会への弾みにしていきたい。各閣僚においては、両大会の成功に向けて、万全の準備を期してください。

【鈴木大臣】

ありがとうございました。

それでは、報道関係者は退室を願います。

[プレス退室]

【鈴木大臣】

本日の議事内容は、配布資料を含め内閣官房から公表することとしておりますので、御了承ください。

本日の会合は閉会といたします。

本日はありがとうございました。